

第76号 令和4年7月

発 行 社会福祉法人 北海道厚真福祉会

責任者 理事長 近藤 泰行

〒059−1623

勇払郡厚真町新町116-3

TEL (0145) 27-3111

FAX (0145) 27-3760



新型コロナウイルス感染防止のため、当分の間、「ガラス越し面会」 とさせていただいております。利用者様の安全確保のため、ご理解と ご協力をお願いいたします。

令和3年度

事業報告・決算報告

数を回復することが出来ました。 園で定員の8割を超えるまで利用者 み、厚真リハビリセンター及び豊厚 などを広くPRし営業活動に取り組 対し、新施設の設備や介護支援体制 支援センター、相談支援事業所等に ことから、市町村や病院、地域包括 新規入所者の受入れが可能になった その結果、当期活動増減差額(当 令和3年度は、新施設が完成し、

収支改善を図ることが出来ました。 885千円から97,050千円の 円となり、昨年度の△111. 期純損益)は、△14,835千 また、年明けの1月に、豊厚園に

借 対 貸 照 表

(単位:円)

資産の部							負債及び純資産の部					
勘	定	科	目	金	額	勘	定	科	目	金	額	
流	動	資	産	53	5,651,150	流	動	負	債	7	6,215	,221
固	定	資	産	2,83	0,052,582	固	定	負	債	49	4,741	,644
(1)基	本	財	産	2,50	4,641,077	負	債の	部合	計	57	0,956	,865
(2)その他の固定資産			32	5,411,505	基		本	金		7,000	,000	
						国	国庫補助等特別積立金		2,28	8,992	,551	
					施	施設整備積立金			10,000,000			
						次	次期繰越活動増減差額			488,754,316		
						純	資 産	の部台	計	2,79	4,746	,867
資産	資産の部合計 3,365,703,732			負	負債及び純資産の部合計 3,365,703			,732				

事業活動計算書

化を目指して参ります。

の定員充足に努め、経営の早期安定 もに、福祉サービスの向上と利用者 基本的感染対策の徹底に努めるとと 謝を申し上げます。

今後とも、一層の緊張感をもって

全ての皆様に対し、心より敬意と感

より無事「収束」することが出来ま 関係行政機関等のご指導・ご支援に

した。ご支援・ご協力を賜りました

おいて新型コロナクラスターが発生

しましたが、苫小牧保健所をはじめ

勘定科目	金額			
サービス活動収益計	623,430,243			
りてみる動物量計	023,430,243			
サービス活動費用計	645,704,916			
サービス活動増減差額	△22,274,673			
サービス活動外収益計	7,633,817			
サービス活動外費用計	193,146			
サービス活動外増減差額	7,440,671			
特 別 収 益	0			
特 別 費 用	0			
当期活動増減差額	△14,834,002			
前期繰越活動増減差額	513,588,318			
当期末繰越活動増減差額	498,754,316			
施設整備積立金積立額	10,000,000			
次期繰越活動増減差額	488,754,316			

資金収支計算書

勘定科目	金 額				
事業活動収入計	628,598,625				
事業活動支出計	602,787,981				
事業活動資金収支差額	25,810,644				
施設整備等収入計	0				
施設整備等支出計	18,991,310				
施設整備等資金収支差額	△18,991,310				
その他の活動収入計	9,511,725				
その他の活動支出計	20,197,335				
その他の活動資金収支差額	△10,685,610				
予 備 費 支 出	0				
当期資金収支差額合計	△3,866,276				
前期末支払資金残高	494,112,365				
当期末支払資金残高	490,246,089				

厚真リハビリセンター 将棋大会

ています。 的としたレクリエーションを行っ 頃から指針の機能回復・維持を目 厚真リハビリセンターでは、日





見に行きました。 日、30月日に安平町にある菜の花を 豊厚園では、5月260日、26分

かった」や「菜の花満開ですごく綺 皆さん「天気も良いし、行けて良







5月9日月、11日水、12日休の日程で 安平町鹿公園に行って来ました。 お花と鹿を間近で見ながら、お茶会 あつまデイサービスセンターでは、

好評を頂きました。 期間の運動不足解消と、心身のリフ レッシュになったと、利用者様からも を行い楽しく交流しました。 約100mの遊歩道を歩く事で、冬





避難人員の確認



出火元確認



職員が説明しています 消火器の使用について





消

火 訓 練



では、6月16日木に避難 厚南デイサービスセンター

練を実施しました。

となる細菌やウイルス、食中毒は、食中毒を起 とで起こります。 物質が付いた食べ物を食べるこ ウイルス、 有害な食中毒を起こす元

然に防ぎましょう。 重症化する危険性があるため未特に抵抗力の弱い高齢者は、

徹底して予防に努めましょう。 の基本は手洗いです。手洗い食中毒予防とコロナ感染予 · を防





堀



不在者投票を守ったである機能回復訓練室で、厚真リハる機能回復訓練室で、厚真リハリーを



後

い体を作っていきましょう。分補給と塩分も忘れずにバテなす。旬の物を食べ、こまめな水高目傾向との予報が出ていまっ後3ヶ月の天候では気温が